

関係機関の長 殿

東北大学大学院農学研究科長
北澤 春樹

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研究科 農芸化学専攻 生物化学講座 生物有機化学分野教授候補者について、下記のとおり公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関の関係者に周知方、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 教授 1人
2. 分野名 生物有機化学分野
3. 応募資格（選考方針）
 - (1) 人格が高潔で博士の学位を有し、学生に対する教育・研究指導を適切に行える人
 - (2) 天然物有機合成化学に関する卓越した識見を有し、国際的な活躍と社会的貢献ができる人
 - (3) 農学領域における生物活性天然物の合成化学研究において優れた研究業績があり、生物活性天然物に関する農芸化学分野のプロジェクトを推進できる人
 - (4) 協調性があり、学内の運営に積極的に参画できる人
4. 主な研究領域
生物活性天然物および関連化合物の有機合成化学
5. 主な担当授業科目
 - (1) 大学院
生物有機化学特論（分担）、天然物生命化学特論（分担）、生命機能物質分析特論（分担）、天然物合成化学特論（分担・他研究科との合同講義）、生体分子化学（分担・博士後期課程）
 - (2) 学部
資源有機化学、生物制御化学、科学英語講読Ⅱ、現代における農と農学（分担）、学生実験Ⅱ（生化）（分担）、基礎化学実験（生化）（分担）
6. 採用予定年月日 令和5年10月1日
7. 提出書類（全てA4判縦とし、横書き）
 - (1) 履歴書（写真貼付、電子メールアドレスを明記）
 - (2) 研究業績概要（1,000字程度）
 - (3) 研究業績一覧（主要論文5編以内に○印を付ける。）：原著論文（英文と和文に分け、査読の有無を記載し、コレスポンディングオーサーになっている論文に*印を付ける。全ての論文に最新のインパクトファクター（2-year Impact Factor）を記入のこと。）、学位論文、著書、総説、受賞、その他の項目に分類して記載
 - (4) 教育業績
 - (5) 教育・研究に関する抱負（1,000字程度）
 - (6) 各種研究費採択状況、学会等の活動歴、国際会議講演（招待講演に*印を付ける）及びその他選考方針に関連する資料等の一覧

- (7) 応募者の照会が可能な方の氏名と連絡先2名（本人の許諾を得た上で記載ください）
- (8) 上記（3）で○印を付けた主要論文5編以内のPDFファイル
- (9) (1)～(8)を一つのPDFファイルにまとめて、メールの添付書類（パスワードを付したもの）としてお送りください。メールの件名は「教員応募（東北大学大学院農学研究科）」としてください。

応募書類の提出後5日経過しても応募書類を受け付けた旨の返信がない場合は、お問い合わせください。

8. 選考方法

書類選考および必要に応じて面接を行う。

なお、面接を受けていただく場合の費用（旅費等）は自己負担となります。

選考結果はメールでお知らせします。

9. 公募締切 令和5年3月13日（月）必着

10. 応募書類の提出先及び 問い合わせ先

東北大学大学院農学研究科生物有機化学分野教授選考委員会委員長 小川 智久

E-mail: tomohisa.ogawa.c3@tohoku.ac.jp (*は@に変えてください)

11. その他

・東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion: DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <http://tumug.tohoku.ac.jp/dei/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）、青葉山みどり保育園（定員 116 名）および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

・本研究科に関する詳細は、<http://www.agri.tohoku.ac.jp/index-j.html> をご覧下さい。

なお、生物有機化学分野の現在の教員構成は、次のとおりです。

教授 桑原 重文※

准教授 榎本 賢

助教 目黒 康洋

※令和5年3月退職予定

以上